

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	精神保健事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課	
		予算科目	4 款 1 項 2 目	事業番号	1990	所属長名	大西昌治
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	谷本恵子	
法令根拠等	精神保健福祉法、自殺対策基本法、健康増進法、伊予市健康づくり計画				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	心の健康や自殺予防等に関する意識の向上と地域での見守り体制の充実を図る。						
事業の対象	こころの不調や精神疾患を抱える本人や家族			事業の目的	身近なところで専門家に相談できる機会を提供することで悩み等の軽減を図る。また精神保健、自殺予防の理解のための普及啓発を行い、地域生活を支える相談と支援を強化する。		
事業の内容 (整備内容)	デイケア・家族懇談会・精神相談・訪問指導・地域自殺対策強化事業により、こころの不調や精神疾患を抱える本人や家族の早期治療や再発防止、自殺防止を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	精神保健事業は、第2次伊予市健康づくり計画 (H25～35)で、こころの健康づくり・ストレス対策として取り組みを推進している。中間年である平成29年度に評価を行なうとともに、現状を把握し、今後の取り組みを推進する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	384	450	0	0	0	376	デイケア (家族懇談会) 参加者数 訪問指導件数 精神相談件数 (電話も含む) 自殺予防対策教室・相談利用者数	人	93	50	32	84
財源内訳								件	118	100	53	106
国庫支出金	0	0	0	0	0	0		件				
県支出金	118	125	0	0	0	114		件	1035	760	429	913
地方債	0	0	0	0	0	0		人	120	90	15	82
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	266	325	0	0	0	262						
職員の人工 (にんく) 数	2.20	1.20				0.00						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	18,173	10,070				376						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		自殺対策事業 (114千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					400	400	400	400	400	2,000		
成果指標	指標	精神障害者や家族を対象としたデイケア (社会復帰促進事業)・家族懇談会の参加者数、訪問指導件数、精神相談 (電話または来所) 件数、自殺予防対策の教室や相談利用者数、自殺者数。			単位	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度		
	指標設定の考え方	精神障害者やその家族が重症化しないうちに気軽に相談できるようになる。また健康教室の参加により理解が深まり、地域で安心して暮らすことができる支援体制に寄与する。			⇒	目標	1350	1000	1200	1200		
	指標で表せない効果	直接相談に結びつかなくても、周知により公的な相談窓口を知っている人が増える。ストレス対処法を身に付けたり、地域で見守り・支援できる人が増え、精神疾患や自殺者数が減少する。				実績	1366	1185				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		第2次伊予市健康づくり計画の中間評価における「こころの健康」と「休養」に関する指標の達成状況について、アンケート調査を参考値として把握した。											
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦労した点・課題	伊予市第2次健康づくり計画の中間評価はアンケート(抽出)結果であるため、参考値として把握した。精神がくたくたになる人の割合の増加や睡眠による休養が十分にとれていない人の割合の増加がみられた。一方で、悩みを相談できる相手のいる人の割合は増加していた。このことは、平成21年度から毎年度継続して、市民・団体を対象に、「ゲートキーパー養成講座」をこれまでに、32回開催し、延べ931人が受講しており、地域での見守り体制の充実につながっていると考えられる。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	3							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B			事業の苦労した点・課題	平成29年度から、精神障がい者家族会「睦会」が高齢化等により運営困難で休会となったこともあり、より本人や家族の抱える悩みに寄り添いながら訪問や相談等の個別支援を重視して対応し、また、保健・医療・福祉の関係者と家族が悩みを共有したり互いに理解できるような機会を既存の事業のなかで工夫して設けるよう努めた。 今後も自殺対策を含む精神保健事業を継続して実施し、誰もが安心して暮らせるような地域づくりをすすめる必要がある。	
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民生、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題		平成29年度から、精神障がい者家族会「睦会」が高齢化等により運営困難で休会となったこともあり、より本人や家族の抱える悩みに寄り添いながら訪問や相談等の個別支援を重視して対応し、また、保健・医療・福祉の関係者と家族が悩みを共有したり互いに理解できるような機会を既存の事業のなかで工夫して設けるよう努めた。 今後も自殺対策を含む精神保健事業を継続して実施し、誰もが安心して暮らせるような地域づくりをすすめる必要がある。			
		コスト効率	5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は適正と認める。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	4								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				A	事業の方向性 所屬長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 近年、精神疾患を有する者、また、診断まで至らないもののグレーゾーンにいる方が増加傾向にあり、かつ家族構成等、様々な課題を抱える方が増加傾向にある。これに伴い、本人又は家族の方からの相談対応や、緊急対応を要する事案も増加しているため、事業継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	4							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 所屬長の課題認識	精神ケース対応については、収束に至ることが少なく、これに加え新たなケースも発生している。また、家族構成も踏まえると、本課だけではなく、庁内関係課との連携、また状況に応じ、警察署や県保健所、社会福祉協議会、民生委員などの連携を必要とするケースも少なくない。 今後は、庁内外の関係課、関係機関・団体の連携を更に強化し、一つ一つの事案に対し、適正かつ迅速な対応を図ることとする。				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	4								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民生、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 所屬長の課題認識			精神ケース対応については、収束に至ることが少なく、これに加え新たなケースも発生している。また、家族構成も踏まえると、本課だけではなく、庁内関係課との連携、また状況に応じ、警察署や県保健所、社会福祉協議会、民生委員などの連携を必要とするケースも少なくない。 今後は、庁内外の関係課、関係機関・団体の連携を更に強化し、一つ一つの事案に対し、適正かつ迅速な対応を図ることとする。			
	コスト効率	5 4 3 2 1	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらぬ。 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4									
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	